

平成十二（二〇〇〇）年度

妙心寺大雄院の建築及び障壁画の調査研究報告

永井規男
山岡泰造
中谷伸生

妙心寺大雄院調査研究班

妙心寺大雄院の調査研究について

妙心寺大雄院の建築及び障壁画の共同調査研究は、平成十二年に、関西大学工学部の永井規男（建築史）、文学部の山岡泰造（美術史）、中谷伸生（美術史）及び妙心寺大雄院調査研究班の大学院生福井麻純、長井健、堀江亮子、西垣香が参加して行った。とりわけ、大雄院の建築及び障壁画は、これまで未紹介のものが多く、貴重な作品である。再三の調査をお許し頂いた大雄院の石河正久住職に心から感謝を申し上げます。

論文・資料紹介

大雄院の建築と歴史

永井規男

妙心寺の塔頭にみる障壁画構成の傾向

山岡泰造

資料

大雄院方丈の柴田是真筆障壁画

福井麻純

柴田是真の襖絵「郭子儀図」

中谷伸生

大雄院書院の土岐済美の襖絵「山水図」

長井健

大雄院障壁画記号、寸法、図版